

ICANN 52

シンガポール

ビジネスダイジェスト



ICANN | 52
シンガポール



2015年2月8～12日

ビジネスダイジェストを発行する目的

このダイジェストは ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) の公開会議の主な内容をまとめたもので、ICANN の成果が及ぶ広範な業界のステークホルダーに向けて、ビジネス界の方々に分かりやすくまとめた非網羅的なダイジェストです。ご意見やコメントは、ICANN のビジネス推進チーム (businessengagement@icann.org) までお寄せください。

関心あるビジネスが ICANN の活動、インターネットガバナンス、およびビジネス界の参加に関する情報を継続的に得ることができるように、情報提供と関心あるビジネスリーダーとの継続的な意見交換のための、Twitter (@ICANN4biz) と LinkedIn グループ (ICANN for Business) という 2 つのオンラインスペースが、このビジネスダイジェストの補足となります。ICANN 会議の動向とビジネス部門部会の役割について、ビジネス界からの新規参加者向けとして ICANN 52 開催前に提供されたウェビナーは、[こちら](#)で聴くことができます。

皆様の積極的なご参加とご意見をお待ちしております。

ICANN に初めて参加する方は、こちらをご覧ください。

- [ICANN 52 の新規参加者向け歓迎セッション](#)
- [ICANN の新規参加者向けプログラム](#)
- [導入コースの受講 : ICANN Learn](#)

要約

2015 年 2 月 8~12 日、シンガポールで ICANN 52 公開会議が開催されました。会議では 300 のセッションが開催され、出席者は 1,600 名を超えました。

ICANN 52では、IANA (Internet Assigned Numbers Authority) の監督権限の移管、および ICANNの説明責任プロセスの強化に関して、広範なコミュニティの討議が行われました。IANAの監督権限の移管に関する調整グループ (ICG) は、IANAの調整機能が米国政府との契約なしにコミュニティにどのように貢献するのかについて、提案を検討するセッションを実施しました。最新の提案については、[監督権限の移管に関するページ](#)をご覧ください。

また、説明責任に関するコミュニティ間ワーキンググループ (CCWG-Accountability) は、米国商務省電気通信情報局 (NTIA) が現在の契約上の機能を果たさなくなったときに、ICANNが引き続きグローバルコミュニティに対して説明責任を負っていくようにするための、説明責任のメカニズムを強化する方法について検討しました (これは「ワークストリーム1」とも呼ばれます)。理事会は、ICANN 52の最後に[この声明](#)を発表しました。

その他の主要ポイント

- グローバルドメインディビジョン (GDD) は、新ジェネリックトップレベルドメイン (gTLD) プログラムの審議を進めており、ユニバーサルアクセプタンスなどの関連する技術的課題に対応する新しいグループを支援しています。

- 2文字のASCII（情報交換用米国標準コード）ラベルのセカンドレベルでのリリースに関する[理事会の決議](#)は、民間部門のステークホルダーから特に高い関心が寄せられました。
 - ICANN が拡大し続ける中で、有志の採用と保持に関する課題はより重要性を増しています。この問題をはじめとするトピックは、さまざまな支持組織や諮問委員会からのコミュニティリーダーによる[重大関心トピックのパネル](#)で議論されました。
-

頭字語

ASCII – American Standard Code for Information Interchange (情報交換用米国標準コード)

BRG – Brand Registry Group (ブランドレジストリグループ)

CBUC – Commercial and Business Users Constituency (商用ビジネスユーザー部会)

ccTLD – Country code Top-Level Domain (国コードトップレベルドメイン)

CCWG – Cross-Community Working Group (コミュニティ間ワーキンググループ)

CSG – Commercial Stakeholder Group (商用ユーザーステークホルダーグループ)

DNA – Domain Name Association (ドメイン名協会)

DNS – Domain Name System (ドメインネームシステム)

DNSSEC – Domain Name System Security Extensions (DNS セキュリティ拡張)

GAC – Governmental Advisory Committee (政府諮問委員会)

GDD – Global Domains Division (グローバルドメインディビジョン)

GNSO – Generic Names Supporting Organization (ジェネリックドメイン名支持組織)

gTLD – Generic Top-Level Domain (ジェネリックトップレベルドメイン)

IANA – Internet Assigned Numbers Authority (インターネット番号割当機関)

IDN – Internationalized Domain Name (国際化ドメイン名)

IPC – Intellectual Property Constituency (知的財産権部会)

ISPCP – Internet Service Providers and Connectivity Providers Constituency (インターネットサービスプロバイダおよび接続プロバイダ部会)

RA – Registry Agreement (レジストリ契約)

SSAC – Security and Stability Advisory Committee (セキュリティと安定性に関する諮問委員会)

UASG – Universal Acceptance Steering Group (ユニバーサルアクセプタンス運営グループ)

UNESCO – United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (ユネスコ : 国際連合教育科学文化機関)

この報告書で使用されている頭字語については、ICANN ジェネリックドメイン名支持組織 (GNSO) の[略語ヘルプ](#)をご覧ください。

開会式と理事長によるオープニングセッションのまとめ

スティーブ・クロッカー理事長は、ICANN 52 の開会式の冒頭で、国際的な包含性、運営の卓越、法人としての説明責任に対する ICANN の取り組みを再確認しました。変化するテクノロジーとセキュリティの脅威による新たな課題についてクロッカー氏が取り上げた後、IANA 機能の監督権限の移管について、今後数か月の見通しに関する講演が行われました。

最初に演壇に立ったのは、シンガポールの情報通信大臣を務めるヤーコブ・イブラヒム博士です。イブラヒム博士は、4.2 兆米ドルに上るインターネット経済におけるアジア太平洋地域の重要性を強調し、サイバーセキュリティ機関の新設を発表しました。さらに監督権限の移行について、博士は ICANN およびマルチステークホルダーのインターネットコミュニティにシンガポールが支援を提供することを約束しました。

アイラ・マガジナー氏（ビル・クリントン元米国大統領の首席インターネット政策顧問）とバイロン・ホランド氏（国コードドメイン名支持組織（ccNSO）の議長）は、監督権限の変遷における歴史的背景について紹介しました。マガジナー氏は、米国政府が監督権限の放棄を長らく意図してきたことを説明し、移管を成功させるための 4 つの戦術を提案しました。

1. ICANN が定められた目的を達成し、その権限を拡大しすぎないこと。
2. ICANN コミュニティに発展途上国からのさらなる参加が必要であること。
3. イノベーション、反逆精神、創造性を奨励するボトムアップの構造としてのインターネットのルーツを、ICANN が支持すること。
4. ICANN が資金調達を引き続き自ら行う一方で、巨大組織化しないこと。その代わりに、ICANN はインターネットの発展に寄与する投資を行うこと。

他にも、ジョナサン・ロビンソン氏（ジェネリックドメイン名支援組織（GNSO）の議長）、ポール・ウィルソン氏（番号資源組織（NRO））、アラン・バレット氏（アドレス支持組織（ASO）アドレス評議会の副議長）、およびジャリ・アルコ氏（インターネット技術タスクフォース（IETF））が講演を行いました。

ICANN 理事長兼 CEO のファディ・チャハデ氏は、移管プロセスを通じて ICANN を強化していく戦略を発表して、式を締めくくりました。

- ICANN の運営に対する国際的信頼を高めること。
- ICANN のマルチステークホルダーコミュニティを多様化させること。
- 世界的公益に基づく ICANN のルーツを維持すること。



グローバルドメインディビジョンの運営

GDD の活動は、新 gTLD を申請した企業にとって重要です。また、今後のプログラムでの申請を検討している企業にとっても重要です。gTLD で新しい名前を登録することにより、オンラインビジネスを進展させることを目指している企業も、活動を注視しています。

アクラム・アタラ氏（GDD プレジデント）は、シンガポールで開催された GDD のセッションについて、「[Countdown to ICANN 52:Global Domains Division \(GDD\) Sessions \(ICANN 52 までのカウントダウン：グローバルドメインディビジョン（GDD）のセッション](#)」というブログ投稿で概要を説明しています。

いくつかのセッションおよびトピックの詳細について、以下に紹介します。

➤ グローバルドメインディビジョン（GDD）に関する最新情報

このセッションの目的は、GDD のすべての活動について最新の概略を提供することです。

- 安全性、安定性、および回復力、ならびに技術的関与
- IANA の機能
- ドメイン名産業の関与
- 新 gTLD プログラム
- 運営と顧客サポート
- イニシアチブ：IDN、WHOIS、ユニバーサルアクセプタンス

ブエノスアイレスでの次回公開会議の開催前に、ICANN は最初のセッション間契約者会議をロサンゼルスで開催して、新 gTLD プログラムの審議を継続し、世界規模で顧客サービス機能を拡張させていきます。

詳細：GDD

- GDD ウェビナー

ICANN では、新 gTLD プログラムのトピックに関してさまざまなウェビナーを開催しています。記録を参照したり、音声を聴いたり、プレゼンテーションや Q/A ドキュメントをダウンロードしたりできます。今後開催予定のウェビナーについても知ることができます。

- お知らせ

契約の統計など、新 gTLD プログラムに関する最新情報を得ることができます。

- スザンナ・ウォン・ベネット氏のブログ「Building Confidence in ICANN's Operations (ICANN の運営に対する信頼の構築)」

ICANN COO によるこのブログ投稿は、グローバルサービスを向上させるための ICANN の手続きについて詳細に説明しています。

➤ 新 gTLD プログラム：現状、審議、今後

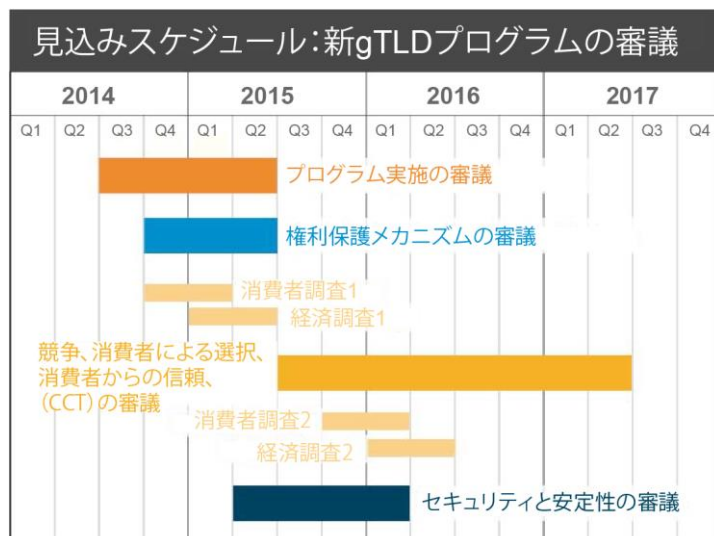
新 gTLD プログラムは、近年のインターネット空間におけるもっとも重要な進展の 1 つであり、その勢いを増し続けています。これまで、新 gTLD について 850 近いレジストリ契約 (RA) が締結され、530 を超える文字列がインターネットのルートに委任されました。ICANN 52 以降に委任された文字列としては、.NISSAN、.EPSON、.ORACLE などがあります。

ICANN は現在、当初の目標を踏まえたプログラムの成果を評価するために、新 gTLD プログラムの一連の審議にリソースを重点的に投入しています。

新しいプログラムの審議ページでは、関連するレポート、草案、パブリックコメントフォーラムが提供され、次回の新 gTLD プログラムの開発に向けた活動に参加し、支援できます。これらの審議を成功させる上で、インターネットコミュニティからの全面的な参加と意見提供が重要です。

各ページでは、個別の審議分野の詳細が提供されます。

- **プログラムの実施** - 新 gTLD プログラムの実施の効率と効果に関する審議
- **安全性と安定性** - 新 gTLD プログラムが DNS ルートシステムに与える影響に関する審議
- **権利保護** - Trademark Clearinghouse、統一早期凍結システム、および委任後の紛争処理手続きなどの権利保護メカニズムの効果に関する審議
- **競争、消費者からの信頼、消費者による選択 (CCT)** - これらの分野におけるプログラムの影響、およびプログラムの評価手続きと保護策の効果に対する検討を含む、ICANN の責務の確認に基づく審議。



詳細：

- 新 gTLD プログラムの審議と評価に関する作業計画案の更新
- 新 gTLD プログラムの統計
プログラムの各段階における申請のスナップショット。毎週更新されます。
- カレン・レンツ氏のブログ投稿：「Tracking the Future of the New gTLD Program（新 gTLD プログラムの将来を見守る）」
- 新しいプログラムの審議ページ
- 権利保護メカニズムの審議に関するレポートの草案向けのパブリックコメントページ
レポートの草案では、新 gTLD プログラムの潜在的問題を回避するために導入された権利保護のセーフガードの効果について、初回の評価を提供しています。この審議についてのパブリックコメントの期間は、2015 年 5 月 1 日までとなります。

➤ **ユニバーサルアクセプタンス：新たな重要課題**

新 gTLD プログラムは、キリル文字、アラビア文字、漢字などのラテン文字以外の合法的トップレベルドメインをより頻繁に追加するための道を開きました。これらの新 TLD は、ソフトウェア、ツール、ネットワーク構成が原因となるアクセプタンスの問題に直面します。同じアクセプタンスの問題は、より多くの文字によるより長い文字列でも起こることがあります。

新 TLD が使用希望者全員に提供されるようになるには、ソフトウェアベンダー、オープンソースツール開発者、インターネットサービスプロバイダー、Web サイト開発者などの協力が必要となります。対応すべき懸念事項は、以下の 3 点です。

- 新 TLD の使用を妨げるフィルタの「誤判定」を排除すること。
- すべての名前をネイティブスクリプトで処理（表示および書き込み）する能力。
- 急速に変化する DNS における安全性と利便性について、意図されたレベルを達成すること。

ICANN コミュニティのメンバーにより、ICANN とドメイン名協会（DNA）の支援を受けて、新しいユニバーサルアクセプタンス運営グループ（UASG）が形成されました。UASG は、重要課題の特定と解決策の提案の指針となり、またユニバーサルアクセプタンスに関するベストプラクティスと一般的アウトリーチ情報の作成および発信を導くことを目的とします。UASG は、ポリシー指向のグループではなく擁護グループとしての役割を果たすことが想定されます。

2015 年 1 月 22 日木曜日には、ユニバーサルアクセプタンスに関心のあるコミュニティメンバーによる小グループのワークショップが開催されました。グループは、この課題の担当者の選択、および対応方法について討議しました。ワークショップ参加者も話し合いに参加し、最終的に ICANN 52 の公開会議に先立って提言を討議するサブグループを形成しました。

シンガポールでの ICANN 52 で開催された ICANN ユニバーサルアクセプタンス会議では、運営グループの一般メンバーの募集が発表され、これらの提言はコミュニティに肯定的に受け入れられました。

グループは、構造の定義、設立文書の形式化、およびマーケティングとアウトリーチの計画策定のために、より広範なマルチステークホルダーの参加を求めています。

また、ソフトウェアベンダー、オープンソースツール開発者、インターネットサービスプロバイダー、および Web サイト開発者に、ユニバーサルアクセプタンスの課題について広く知ってもらう上での支援を求めています。

詳細：ユニバーサルアクセプタンス

- [ICANN のユニバーサルアクセプタンス用リソースページ](#)
このページでは、ユニバーサルアクセプタンスの取り組みの概要、背景情報、役立つリンク、および FAQ を提供します。
- 討議に参加：<https://mm.icann.org/mailman/listinfo/ua-discuss>
ユニバーサルアクセプタンスのトピックに関する討議のリスト。
- [UASG から理事会への書簡](#)をご覧ください。
- 開発者向けのユニバーサルアクセプタンスのリポジトリ
DNA の Web サイトのオープンスペースでは、ユニバーサルアクセプタンスのリソース、文書、連絡先、および解決策を共有しています。

セキュリティと安定性の問題

SACo69

SSAC は、2 月 12 日に公開会議を開催し、2015 年に完了した活動と既存/新規作業当事者に関連する最新情報、および IANA の監督権限の移行に関して最近発表された文書（SAC069：IANA 機能の監督権移管による安全性と安定性の維持に関する SSAC の勧告）が提供されました。

詳細：SSAC

- [SSAC のレポートと勧告のリスト](#)
公開されているすべてのドキュメントの詳細リスト（多言語）。
- [SSAC のランディングページ](#)（ICANN の Web サイト）
SSAC の歴史と運営、メンバーシップ、および活動に関する情報を掲載しています。
- [SSAC の公開会議](#)
ICANN 52 での SSAC の公開会議の音声記録、トランスクリプト、およびプレゼンテーションを入手できます。

DNSSEC

DNS セキュリティ拡張（DNSSEC）は、全面的な実施によってさらなる効果を発揮します。このため、企業による DNSSEC の導入によってインターネットのセキュリティの強化が支援されます。インターネット上で活動するレジストリ、レジストラ、レジストラント、ホスト企業、ソフトウェア開発者、ハードウェアベンダー、政府、ビジネス、および機関、ならびにインターネット技術者および連合は、いずれもこの大規模な取り組みの成功に責任を負います。

ICANN 52 では、人気の高い繰り返しセッションである DNSSEC for Everybody、および DNSSEC ワークショップも行われました。

詳細：DNSSEC

- [DNSSEC for Everybody -- 入門ガイド](#)
このセッションは、DNSSEC について分かりやすく説明し、ビジネスに DNSSEC を簡単かつ迅速に導入する方法について示します。
- [DNSSEC ワークショップ](#)
この 1 日のワークショップは、DNSSEC の導入に携わっているレジストリ、レジストラ、および ISP がベストプラクティスを共有できるように設計されています。
- [DNSSEC 導入のメリットに関する Verisign のページ](#)
DNSSEC 導入のメリットについて、レジストリ、レジストラ、および ISP 向けに説明している、Verisign の便利なマイクロサイトです。
- 「[2015 Will be a Good Year for DNSSEC \(2015 年は DNSSEC にとって良い年です\)](#)」
Web コンテンツおよび DNS ホスティングのプロバイダーである CloudFlare は、プラットフォーム全体で DNSSEC を配備することを発表しました。このトピック

クに関する情報、およびこの進展が DNSSEC の配備に与える影響については、リック・ラム氏のブログをご覧ください。

GAC の勧告

政府諮問委員会（GAC）の声明は、2015 年 2 月 11 日に発表されました。

GAC は、新 gTLD プログラムの審議と評価、およびセカンドレベルでの 2 文字コードと国名のリリースに関して、ICANN 理事会に勧告を提供しました。

- GAC は、公益のための誓約の紛争解決手続き（PICDRP）について、脅威への対応としては過度に複雑であり、効果がない可能性があるという見解を示しています。この問題への対策として、GAC はプロセスをさらに改善するか、または公共に害する深刻なリスクを伴う問題についての「ファストトラック」方式のプロセスを開発することを奨励しています。
- GAC は、2 文字コードのリリースの要請に対する現行プロセスを修正することを助言しました。特に、関連する政府にアラートを送る通知システムの確立、および GAC の個々のメンバーの意向（すべての申請に同意する、個別に検討する、またはいずれにも同意しない）について情報を提供するための公開データベースの作成を提案しています。

その他にも、以下のようなトピックについて議論されました。

- 米国政府による IANA の監督権限の移管、および ICANN の説明責任の強化。
- すべての新 gTLD、およびカテゴリ 1（消費者保護、微妙な文字列、および参入規制）とカテゴリ 2（登録制限）に適用される保護策の勧告。
- 独立審議パネルとドット・アフリカ（.Africa）。
- インターネットセキュリティ。
- インターネットガバナンス。

詳細：GAC

- GAC によるシンガポール声明の全文は、[こちら](#)をご覧ください。
- 過去の GAC の声明は、[こちら](#)をご覧ください。
- GAC とそのメンバーについての詳細は、gacweb.icann.org をご覧ください。

インターネットガバナンスの展望

ICANN 52 は、ICANN の権限を越えた広範なインターネットガバナンスでの活動、および ICANN とこれらの広い活動との間のやりとりについて検討する機会となりました。

この会議におけるインターネットガバナンスの公開セッションは、[インターネットガバナンスに関するコミュニティ間ワーキンググループ \(CCWG\)](#) のコミュニティメンバーの協力により企画され、セッションの聴衆が参加できるように、より双方向の形式で行われました。

CCWG のメンバーが取り上げたトピックは以下のとおりです。

- [NETmundial のイニシアチブ](#)。
- 2015 年 12 月に国連で締めくくられる [WSIS+10 の審議プロセス](#)。
- [インターネットガバナンスフォーラム \(IGF\)](#)、およびその期間の更新。
- ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）のイベント「[CONNECTing the Dots:Options for Future Action](#)」。

詳細：インターネットガバナンス

- [ICANN 51 以降のインターネットガバナンス活動に関するレポート](#)
ICANN グローバルステークホルダーエンゲージメントチームのメンバーによるこのレポートは、ICANN がすでに積極的に関与しているインターネットガバナンスの課題について概要を提供しています。
- [ユネスコの内部調査：Keystones to foster inclusive Knowledge Societies（包含的知識社会を育成するための基盤）](#)
ユネスコは現在、この調査の草案に対するフィードバックを収集しています。これは、前述の「CONNECTing the Dots」イベントでの主題となりました。調査の最終版は、2015 年のユネスコ総会で発表され、WSIS+10 の審議向けに提出される予定です。
- [インターネットガバナンス - 公開セッション](#)
ICANN 52 の公開セッションの音声記録、トランスクリプト、およびアジェンダ。
- [インターネットガバナンスに関する CCWG](#)
[インターネットガバナンスに関する CCWG](#) は、さまざまな支持組織、諮問委員会、およびスタッフの垣根を越えて ICANN コミュニティが団結するために、ブエノスアイレスでの ICANN 48 会議の直後（NETmundial 会議の発表時）に形成されました。

民間部門の参加コーナー

擁護グループ

ブランドレジストリグループ (BRG)

BRG は、新 gTLD プログラムに対して統一的な意見を表明するため、多くの主要ブランドの要望により形成されました。BRG は日曜日に公開セッションを開催して、新しい.brand の潜在的申請者、および第 2 回の gTLD プログラムを待っている人々を歓迎し、集団行動の利点を強調しました。BRG のメンバーは、一連の基準（商標権を所有し、申請時に「.brand」として申請された文字列を運営することを意図し、セカンドレベルでのオープン登録を販売する意図がないことなど）を満たす必要があります。メンバーには、Alibaba、Amazon、BBC、Deloitte、Gucci、LEGO Juris、Microsoft、Philips、Richemont、Shell、Virgin Enterprises、および Yahoo!が含まれます。

BRG は、国名と 2 文字コード（例：www.example.us.brand）の発行に特に関与しています。新 gTLD 基本合意 (RA) の仕様 5 により、レジストリ オペレータはセカンドレベルの 2 文字の ASCII ラベルをすべて予約する必要があります。さらに RA では、レジストリ オペレータが当該文字列に関連する政府および国コードの管理者と合意に達している限りにおいて、2 文字のラベル文字列をリリースできることを規定しています。一連のパブリックコメント期間、GAC の勧告、および理事会の決議を経て、ICANN は 2014 年 12 月 1 日付けで、すべての新 gTLD レジストリ オペレータ向けのすべての非文字/文字による 2 文字の ASCII ラベルのリリースに対する包括的承認を発表しました。ICANN 52 に先立って行われた一連の新しい協議の後、ICANN 52 での GAC の声明に盛り込まれる勧告を受け入れることが理事会で新たに決議され、これによって承認プロセスが変更されました。

詳細：BRG

- [ブランドレジストリグループ \(BRG\) の潜在的メンバー会議](#)
ICANN 52 公開セッション。
- [ICANN 52 シンガポール会議に対する BRG の声明](#)
2 文字の ASCII ラベルのリリースに関する BRG の見解。
- [2 文字ラベルによる Web ページ](#)
2 文字の ASCII ラベルのリリース向け承認プロセスに関する背景、詳細、および情報。

ドメイン名協会

DNA はドメイン名産業全体の利益を代表する初の産業グループであり、プロビジョニング、およびドメイン名の導入と使用の拡大に関する業界の共通の利益を推進、前進、サポートします。DNA のメンバーシップは、地理的、およびビジネスセグメントや代表される専門性の観点から多様です。

協会は、[レジストリ/レジストラ協力](#)およびユニバーサルアクセプタンスのトピックに非常に深く関与しています。

詳細：DNA

- [ドメイン名協会のレジストリ/レジストラ運営に関する WG](#)
- [ドメイン名協会メンバーによる朝食会](#)

GNSO の商用ユーザーステークホルダーグループ部会

CSG はビジネスユーザーと接続プロバイダーの視点を代表するグループです。このグループの役割は、企業、ユーザー、消費者が高い信頼の下、企業間/企業消費者間の取引やコミュニケーションを行う場としてインターネットを発展させるという方向性に沿って ICANN の方針や契約が設定されていることを検証することです。シンガポール会議では、CSG と ICANN 理事会の会合が行われ、ICANN の最重要の組織的リスクについて討議が行われました。また、3 つの部会すべてが ICANN スタッフとの会合でアウトリーチについて討議しました。

商用ビジネスユーザー部会 (CBUC)

商用ビジネスユーザー部会 (CBUC、ビジネス部会、または BC と呼ばれます) の公開会議では、ICANN の財務およびコンプライアンスチームのプレゼンテーションも行われました。グループは、新 gTLD プログラムの審議、WHOIS、ブランドの gTLD 向けの国/地域名のリリース、IANA の監督権限の移管、ICANN の説明責任プロセスの強化などのポリシーに関する課題について、詳細に討議しました。

詳細：BC

- [BC の Web サイト](#)
BC の使命、メンバーシップ、および会議について情報を提供しています。
- [BC のニュースレター \(2015 年 2 月\)](#)
シンガポール会議での BC が関心のあるトピックについて概要を紹介しています。

知的財産権部会 (IPC)

グレッグ・シャタン氏が新しいプレジデントに選出されるとともに、退任するクリスティーナ・ロゼット氏の貢献が認められ、IPC にとって大規模な会議となりました。IPC のセッションでは、契約遵守、ICANN の運営計画、および新 gTLD プログラムの審議に関するプレゼンテーションが行われました。グループはさらに、[公益のための誓約 \(PIC\)](#) について討議しました。PIC は、レジストリの運用を一定水準に保つために、申請者が一般的な RA とともに作成し、署名し、実施できる自主的な修正事項です。

詳細：IPC

- [IPC の Web サイト](#)
IPC の情報、意見書、およびニュースを提供しています。

ISP・接続プロバイダー部会 (ISPCP)

ISPCP の会議では、主として IANA の監督権限の移管と ICANN の説明責任プロセスに焦点が当てられました。また、ISPCP メンバーのクリスチャン・ドーソン氏が新設された UASG のメンバーでもあることから、ユニバーサルアクセプタンスのトピックが議題の一部として取り上げられました。さらに、新規メンバーを集め、コミュニティの重要性について広く伝えるために、アウトリーチの戦略についても検討されました。

詳細：ISPCP

- [ISPCP の Web サイト](#)
ISPCP の使命、メンバーシップ、ポリシーのリソース、および意見書を提供しています。

継続的なつながりと関与

ICANN フェローシッププログラム

ICANN フェローシッププログラムは、発展途上の地域および国における経験を反映させる有識者の広範な基盤を形成するために、それぞれの地域から参加者を募っています。ブエノスアイレスでの ICANN 53 のために、50 名のフェローが最近発表されました。このグループには、ビジネス部門から 4 名が含まれます。ダブリンで開催される ICANN 54 公開会議は、2015 年 4 月 3 日から 2015 年 5 月 14 日までの期間中に申し込みの受け付けが行われます。民間部門からの参加が奨励されます。

詳細：フェローシッププログラム

- [フェローシッププログラムのリソースページ](#)
プログラム、同窓生、各回のプログラムの情報、および FAQ を提供しています。
- [ICANN フェローシップの申請](#)
ICANN フェローシッププログラムへの申請方法について説明しています。

ICANN オンライン学習プラットフォーム

ICANN Learn は、ICANN 48 で立ち上げられました。この無料の公開オンライン学習プラットフォームは、新しい参加者に対して基礎知識と ICANN 組織に関する知識を共有する場を提供することにより、知識を身につけた ICANN ステークホルダーの裾野を広げることを目的としています。ICANN 学習システムをできるかぎり有用なものにしていくために、ご意見とご要望をお寄せください。ビジネスからの参加者向けの導入コースは、現在開発中であり、2015 年に提供予定です。

learn.icann.org では、アカウントを作成し、コースに登録して、学習を開始できます。

詳細：

- [ICANN のポリシー策定に関する毎月の最新情報](#)
- [ICANN のニュースレターとアラート](#)
- ソーシャルメディアのフォロー：
 - Twitter：[@ICANN4biz](#)
 - LinkedIn グループ：[ビジネス向けの ICANN](#)
 - [SlideShare](#)

参考インフォグラフィック (クリックすると拡大します)

IANA の機能

詳細については、www.icann.org を参照し、[@ICANN](https://twitter.com/ICANN) をフォローしてください。

商標の保護

22 > 1300
今年度の初めに、インターネットのトップレベルドメインの数の増加は 300% に達しました。

+3
権利保護のメカニズム

ドメイン名産業

ドメイン名産業
エコシステム

ドメイン名産業
責任

ドメイン名産業
価値連鎖

ドメイン名産業
価値連鎖